

森の学校だより

富士山、福島、広島 の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト

FOREST
SCHOOL
BULLETIN

富士山地区 親子で遊び学ぶ里山生き物クラブ
福島地区 地元の木材でネイチャークラフト体験
広島地区 豊かな自然を感じる里山生活

森羅万象

森のあるものすべてが
子どもの成長に
つながっている

担当者から「こんにちは」

森の学校開校10周年にあたって

樹話
になる

初夏のさわやかな風を感じる季節となり、樹々の緑も一層深くなりました。

話題の林業映画「WOOD JOB!」を観て来ました！都会に住む18歳の若者がひよんなことから林業に従事し、村人や林業関係者と関わりながら成長していく物語です。笑いあり涙あり、そしてなにより林業の現状がとても分かりやすく描かれていました。印象に残った言葉が「農業は丹精込めて作った野菜をすぐに出荷でき、その恩恵

を受けることができるが、林業家はそうはいかない。結果が出るのは自分たちが死んだ後だ。だからこそ子どもや孫の代にも受け継いでいくために、手入れや植樹をし続けなければいけない」。ろうきん森の学校も100年後の未来を見据えて、森や人を育て、地域をつくる活動を続けているのだと、決意を新たにしました。

富士山地区



7～9月のイチオシ体験プログラム！

里山生き物クラブ

【日付】2014年8月31日(日)

【対象】満3歳以上～大人

【参加費】大人1000円、子ども500円 ※パルシステム会員価格あり

企画の背景

ホールアース自然学校周辺の里地里山には、たくさんの生き物たちが暮らしています。実はそんなたくさんの生き物たちがいることを知ることはとっても大事なことです。そして、田畑に生き物がいるということは、安心な食べ物が身近で採れるということ。親子で遊びながら学ぶことで、生き物の不思議と大切さ、食の安心も伝えたいと思い、企画してから今年で3年目になります。

企画の想い

生き物をこよなく愛する講師がご案内。特にカエルやエビなどの田んぼや畑、小川にいる虫や植物に詳しい講師と一緒に、クイズやゲームをしながら親子で楽しく生き物の不思議にせまってみたいと思います。生き物と食の安全を体験を通じて感じてください！



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告 里山つなぎ隊～たけのご掘り編～

竹林整備で里山を元気に！をモットーに毎月活動している里山つなぎ隊。今回はたけのご掘りに挑戦。4月27日、富士山がどーんと見えている中、直売所に出荷をする筍を早朝に掘りにいきました。出荷するためには根っこまで綺麗に掘ります。掘る作業が意外と大変で、1つの筍を食べるために、かなりの労力がかかっていることを肌で実感しました。朝採れを直売所

に出荷するとすぐに完売。労力が報われた瞬間でした。他にも春の野草を摘んで食べたり、春の味覚満載の企画でした。

「筍掘りがこんな苦勞するなんて思わなかった！
掘れたときの快感と食べた時の美味しさに感動！」
「筍掘りだけでなく、竹や野草の知識も増えてよかった」
(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■富士山!カラダの学校～ノルディックウォーキング～

■「涼をめぐる夏コース」【日付】2014年7月6日(日)

■「のんびり歴史巡りコース」【日付】2014年9月7日(日)

【対象】小学生以上

【概要】毎月富士山西麓エリアでノルディックウォーキングのイベントを実施。健康運動指導士と自然ガイドが健康ネタと富士山の自然ネタをご紹介します。楽しく歩きます。

【参加費】1,500円(保険料込み)

■富士山!カラダの学校～植物のチカラ～

【日付】2013年9月23日(火・祝)

【対象】どなたでも

【概要】身近な植物を使って、七味唐辛子を作ります。

薬剤師の先生を講師に、夏の疲れを回復するためのヒントが盛り沢山の企画です。

【参加費】3,000円(小学生は1,500円)

■里山のようちえん

【日付】2014年9月20日(土)・21日(日)

【対象】3歳～6歳(未就学児)とその保護者

※リピーターのみ小学2年生まで可

【概要】5月に植えたお米の収穫祭。新米を贅沢にも羽釜で炊いて食べます！ピカピカの新米を親子でいかが？

【参加費】大人13,000円、子ども9,000円



7～9月のイチオシ体験プログラム！

ネイチャークラフト体験

【日付】2014年8月17日(日)

【対象】どなたでも【参加費】500円

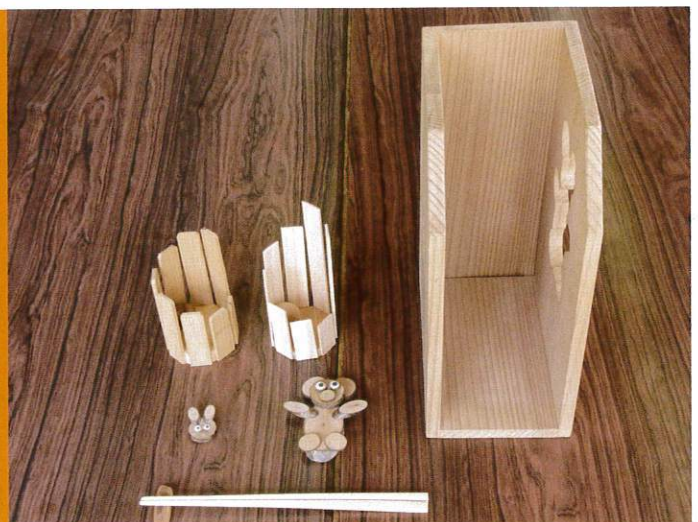
企画の背景

健全な森林のためには、地元の木を適切に使うことが大切であることを10年近い活動の中で実感したことから、2～3年前から木育教育提案者の養成に取り組んでいます。一挙に地元

の木で家を作ることは無理なので、日頃から木とふれあい、木の良さを実感してもらうことが大切だと想い、森林整備でできた木の有効活用のための一つとして取り組んでいます。

企画の想い

日常生活の中で、地元の木を材料として自分で作った木用品を使ってもらうことを普及させたいと思っています。お母さんたちと小学生の子供さんの参加を期待しています。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

自然観察会

8月18日に、労金連合会等労金関係者を含め25名+幼児1名の参加者のみなさんと、山野草の勉強会を兼ねた自然観察会、森林療法体験、野外料理体験を実施しました。1歳7ヶ月の幼児の参加もあり和やかな雰囲気の中で、観察会では20種類もの山野草を観察できました。また、野外料理では、ウコギごはんやさくらの葉の塩漬ごはん、コゴミのごま和え、山ウドの酢味噌和え、タラの芽の天ぷら、ウルイの酢味噌和えとおひ

たしなど、旬の味覚を思いっきり楽しみました。午後は竹林の手入・山菜採りと木工クラフト体験にも挑戦しました。

「セイトカアワダチソウの新芽の天ぷらがおしかったです」

「ヤマウドについては料理の仕方を工夫することで残さずに食べられることを教えてもらいました」(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■自然観察会

【日付】2014年7月20日(日)

【対象】どなたでも

【概要】炭焼き体験、野外料理体験もあわせて楽しめます。

【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2013年8月17日(日)

【対象】どなたでも

【概要】ネイチャークラフト体験、野外料理体験もあわせて楽しめます。

【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2013年9月21日(日)

【対象】どなたでも

【概要】農作業体験、野外料理体験も合わせて楽しめます。

【参加費】500円



7～9月のイチオシ体験プログラム！

夏の分校1/2ヶ月

【日付】2014年8月3日(日)～8月17日(日)＜14泊15日＞
 【対象】小学校4年生～中学3年生/24名
 【参加費】85,000円(食費、保険料、プログラム費等)

企画の背景

西中国山地の豊かな自然、山里に住む人々の暮らし、文化などに触れることで、豊かな感性を育むと同時に、自然や人々の暮らしについて理解を深めることができます。また、集団生活の中で、思いやり、自主性、協調性、忍耐力、社会性などの豊かな心を育む機会を作りたいと思っています。

企画の想い

14泊15日という自然体験は夏休みしかできない体験です。長期集団生活を通じて、普段の生活では体験できない一生の思い出になるような貴重な体験をしてほしいと願い企画しました。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

森のカフェ・春編

ゴールデンウィークを迎えた森の学校。小鳥がさえずり、コバノミツバツツジが咲き乱れていました。とても素敵な春の1日。4月26日(土)に開催された森のカフェ・春編のテーマは「溪流魚と山菜のアウトドア料理」でした。参加者は総勢15名。主催者から森の学校の説明を受け、料理の説明があった後はさっそくグループに分かれてアウトドア料理づくりを行いました。タラの芽、ウド、コシアブラ、タケノコの天ぷら、ウ

ドの酢味噌和え、ヤマメの笹包み焼きに釜焚きのごはんと豚汁が添えられ、春の恵みに舌鼓を打ちました。昼食後は、万代池でカヌーを楽しんだり、森の学校のフィールド散策をしたり、ハンモックでお昼寝をしたりと、思い思いに森のゆっくりとした時間を満喫した1日でした。

「今日のお昼ごはんは人生で5本の指に入るおいしさでした」
 「森の中でしっかり充電して、明日からまた頑張ろうと思える1日でした」

(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■第2回わくわく探検隊

【日付】2014年7月12日(土)
 【対象】小学4年生～6年生
 【概要】カヌーやアースウォークで五感を使って自然を体感します。
 【参加費】26,000円(全4回分)

■森の妖精クラブ

【日付】2014年9月6日(土)
 【対象】小学4年生～6年生
 【概要】道具と火を使ってネイチャークラフトに挑戦します。
 【参加費】26,000円(全4回分)

■平日作業隊

【日付】7月～9月の毎週木曜日
 【対象】森の整備に興味がある方
 【概要】森の学校のフィールド整備、動植物調査など
 【参加費】無料

森 羅 万 象

NPO法人 緑とくらしの学校
理事長 小菅 江美さん



PROF I L E

1971年新潟県安塚町生まれ。小学校講師時代に学校で産まれた馬を引き取ったことをきっかけに、環境教育の道へ。NPO 法人木と遊ぶ研究所、(株)キュービットパレイを経て、2004年よりNPO 法人緑とくらしの学校を運営。現在新潟県上越市在住。

森のあるものすべてが子どもの成長につながっている



れなくなってきて、学校を辞め、馬を引き取ってキャンプ場で働きながら学校外でできる教育の模索を始めました。個人事務所を開き、偶然にもデンマークで森のようちえんに出会いました。それまでやってきたキャンプ等の体験はどうしても「非日常」になってしまいます。でも大切なのは日常での自然体験をどう活かしていくか。そう考えた末、幼児期の親子での自然体験＝森のようちえんを始めました。最初は近所の公園で拍子木をたたいて子どもを集め、「子育て広場」というゲリラ的な活動をしていました。その後、縁あって活動の拠点となる森を使わせていただけることになり、2004年に緑とくらしの学校を設立しました。



Q4 森のようちえんに参加している親にどのような変化があるのでしょうか。

先ほど紹介したように、チェーンソーで木を切って燃料として使うほか、自分で田んぼを借りてコメ作りをする人もいます。森のようちえんでの3年間でできることは、子育ての核を作ることだと思います。親の背中を見て子は育つと言いますから、日常森の中に入り、手を使って生活し、暮らしの中に取り込むが「心地よい」と感じる親が増えていくのは嬉しいですね。



Q1 緑とくらしの学校について教えてください。

幼児期の子どもと親を対象とし、平日に行っている通園型、自主保育の「森のようちえん てくてく」、小学生以上を対象として週末に行っている「こどもしぜんあそび塾」、そして暮らしを見つめる場の創造活動(子育ての森づくり等)の3つが事業の柱です。上越市内に借りている里山をフィールドとし、現在17名の通園型保育を行っています。



Q2 どういう経緯で森のようちえんを始めたのですか？

元々小学校で講師をしていました。大学時代に野外教育も学んでおり、自然体験することの影響の大きさは知っていました。総合的な学習が始まった頃、学校で馬(ポニー)を飼い始めました。すると毎日世話をする中で子どもが大きく変わっていききました。作文、絵画はじめ全教科が馬中心になっていったんです。馬に対する子どもの気持ちが常に向かっていました。その時、心が動く何かがなければ表現できないと痛感しました。そうしているうちにだんだん教室だけにはいら



Q3 子育ての森づくりについて教えてください。

昨年からは森のようちえんを行っている森林の手入れを、子どもの親と一緒にしています。スギは間伐し、クリは老木のため伐採して更新しています。特にお母さん自身が森に強い思い入れがあり、「自分も森に育てられている」「ありがたいという気持ちになる」と言って、チェーンソーを持って活躍しています(笑)。新潟は寒いので暖房を日常使っていますが、その燃料が目の前の山で得られることで、木が暮らしにつながっていることを実感しています。今年中には小屋も作る予定です。また、地元の農業高校生も間伐に参加し、切った木で本棚を作ってプレゼントしてくれました。



Q5 「森の学校だより」の読者の皆さんにメッセージをお願いします。

子どもは大人より自然に近いところで生きています。自然の中にいることで子どもの力が引き出され、自然と子ども、親と子が響き合います。森の中ではそこにあるものすべてが子どもの成長につながっていると思います。子どもが笑顔になると、親(大人)も笑顔になりますよね。そうした笑顔のサイクルがつながっていけばいいと思います。肩ひじ張らずに森へ遊びに行きましょう。

聞き手：大武 圭介(全国事務局)

(参考URL) 森のようちえん全国ネットワーク <http://www.morinoyouchien.org/>



日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行なう、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。



Information & Access & Map

<h3>富士山地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 袖野エリア ■ 田貫湖エリア ■ 御殿場エリア <p>Information NPO法人ホールアース研究所 〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://wens.gr.jp</p> <p>Access 電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分 車: 新東名高速道路新富士I.C.より30分</p>	<h3>福島地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 湯ノ岳エリア ■ 岩出・好間・藤原エリア <p>Information NPO法人いわきの森に親しむ会 〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp HP: http://www16.plala.or.jp/goan/</p> <p>Access 電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分 車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分</p>	<h3>広島地区</h3> <p>Information NPO法人ひろしま自然学校 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863 E-mail: nkk2002@mac.com HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access</p> <p>Access 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分 車: 広島自動車道広島北I.C.より20分</p>
<p>ろうきん森の学校全国事務局 〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 TEL 0544-66-0790 FAX 0544-67-0567 NPO法人ホールアース研究所 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://www.mori-gakko.com</p>		

担当者から
「こんにちは」

NPO法人ホールアース研究所
おおたけ けいすけ
全国事務局 大武 圭介 さん

ろうきん森の学校は、2005年10年に開校して2014年で10年目を迎えます。福島地区（いわき市）、富士山地区（富士宮市）、広島地区（北広島町）の現地NPOが事務局となり、活動を展開しています。これまで9年間の活動で、のべ100,665人が活動に参加し、3地区それぞれで特色ある活動が充実してきました。10年間という時間の流れで、植林した木々が大きくなってだけでなく、各地区で新たな施設・設備が充実し、様々なプログラムができ、そして多くの人材も育ちました。なお、労働金庫連合会は、ろうきん森の学校を2015年度以降、さらに10年間にわたって継続して取り組むこととなりました。次の10年間に向けて、各地区とも連携しながらさらに活動を広げていきます。